

こんにちは。トリプルアイズの白石です。  
いつもお読みいただきありがとうございます。

2021 年も最後の月に入り、一年を振り返る時期ですね。

そんな師走でバタバタするなか、今回は「進化した AIZE がここに！ 顔認証によるセキュリティゲート“AIZE Gate”登場！」をお届けします。他にも「AIZE 導入事例～清水建設様、ミナテラスとちぎ様」、ますます盛り上がりを見せる「IT 批評」「AT20」など盛りだくさんの内容でお届けします。ぜひ最後までご覧ください！

-----<目次>-----

1. AIZE 新製品情報
2. トリプルニュース
3. IT 批評
4. 編集後記

## 1. AIZE 新製品情報

進化した AIZE がここに！ 顔認証によるセキュリティゲート「AIZE Gate」登場！



AIZE といえばサーモ機（自動検温機）の姿を思い浮かべる方も多いでしょう。コロナ禍において、非接触での検温と顔認証を可能にした AIZE Biz+ や AIZE Research+ は日本全国の様々な業種のお客様先で活躍していますので、もはやおなじみですね。

その AIZE のサーモ機を用いた進化形が今回ご紹介する、その名も「AIZE Gate（アイズゲート）」です。写真を見ていただければ一目瞭然ですね。そう、サーモ機とゲートが一体化し、顔認証によりゲートが開錠するしくみを持つ、まさに AIZE ネクストレベル！

社内にデモ機が置かれていたので試してみましたが、マスク着用でもしっかり本人認証＆検温してくれて、ゲートが開くさまに感動しました。搭載モードは、「顔認証+検温モード」「顔認証モード」「検温モード」の3種類があり、用途に合わせてお選びいただけます。

これはいろんなところで活躍するのが目に浮かびます。当面はオフィスビルや工場での入退室管理に活用される予定ですが、ゆくゆくは会員制の施設やレジャー施設などでも利用されそうですね。ローコストで導入ができるのも魅力です。

AIZE はこれからも、お客様や社会のニーズに合わせて、いろんな形をとりながらサービスを展開していく予定です。なぜなら AIZE の本質はクラウド上にある AI 画像認識プラットフォームですので、画像を取得するデバイスを問わないからです。「こんなことができたらいいな」をテクノロジーで形にしていくのがトリプルアイズの使命です。

国産顔認証AIシステム+非接触自動検温  
セキュリティゲート

# AIZE Gate



AIZE Gate-AR900

## POINT

- 1 高精度な顔認証AIシステム・AIZE
- 2 豊富な導入実績と安心の国産AI
- 3 業界最安！低コスト

高性能・顔認証AIセキュリティゲートが  
**1,000,000円**～導入できます！



AIZE Gate-AR550

回転式タイプのご用意もございます！



## 搭載モード

### ■ 顔認証+検温モード

AIZE Biz上で本人登録されており、かつ検温が平常である場合に開錠  
\*別途クラウド契約が必要

### ■ 顔認証モード

AIZE Biz上で本人登録されている場合に開錠  
\*別途クラウド契約が必要

### ■ 検温モード

検温数値が平常時の場合、開錠

## 2. トリプルニュース

清水建設株式会社が食品工場の未来の姿を提案～トリプルアイズの AI 技術が「フードファクトリー2021」において紹介されました



(<https://www.3-ize.jp/information/?p=2198>)

清水建設様がサービス提供する「クリーンエリア入退管理システム」は、食品加工場などのクリーンエリアへの入場を最新のセンシング技術で自動管理するシステムです。ID カードやビーコンなどを使わずに、作業員を認識・追跡し、衛生準備室内の行動を統合管理します。

入場時に事前登録された人物とその体表面温度を自動チェックする仕組みで、顔認証部分には AIZE が採用されています！

10月に開催された「フードファクトリー2021」において本製品が紹介されました。

食品や医療など、厳重な衛生環境が求められる施設において、非接触で本人認証ができる顔認証技術が広がりを見せています。

「ミナテラスとちぎ」で画像認識 AI・AIZE を用いた来場者調査の実証実験～来訪客の属性を「見える化」しリアルなマーケティング分析が可能に



(<https://www.3-ize.jp/information/?p=2218>)

11月下旬、栃木県宇都宮市の地域コミュニティ施設「ミナテラスとちぎ」で開催された「青空マルシェ～益子の陶器祭・とちぎコーヒーフェスティバル」において、AIZE を用いた来場者調査の実証実験を行いました。

マルシェ 2カ所の入り口には、AI 連携のサーモカメラと防犯カメラをそれぞれ設置。カメラで取得した顔データを、クラウド上にある画像認識プラットフォーム・AIZE が解析し、来場者数や滞在時間をカウントするとともに男女比率や年齢など来場者の属性を分析しました。

これまで、来場者数を従業員が目視でカウントしており、来場者の正確なデータが取れないという課題がありました。AIZE Research の設置により、リアルな来場者分析が期待されます。

ミナテラスとちぎホームページ：<https://minaterrace.jp/>

AIZE ホームページ：<https://aize.jp/>

## AT20



**受講者 200 名突破！** 続々修了者も出ています。

AI エンジニア育成のための通信教育プログラム「AT20」の販売をスタートして、はや 5 カ月、ついに**受講者が 200 名（延べ人数）を突破**いたしました。3カ月のプログラムを終え、修了証を受け取る方も何名も出てきています。すでに何度か当メルマガでもお知らせしてきましたが、改めてご紹介させていただきます。

AT20 は、トリプルアイズで最先端技術（Advanced Ttechnology）に携わる社員の比率を引き上げるために実施している独自の教育プログラムです。通信教育方式で毎週の課題をこなしながら実務で通用する AI エンジニアリングの技能を身に付けています。以前より他社からお問い合わせをいただいていたこの教育プログラムを、企業内エンジニアの方々向けに教育サービスとして提供しています。



AT20 は、習熟度に合わせて学習スケジュールを決められる 4 つのコースを設けております。

- ・ 入門コース
- ・ Python 基礎コース
- ・ エンジニア初級コース
- ・ エンジニア中級コース

講義は随時受けることができますので、まずはお問い合わせください。

お問合せ先：Tel : 03-3526-2201 mail : contact@3-ize.jp

[詳細はこちら](#)

#### 4. IT 批評



編集長ホヤホヤの新着記事です。皆さん、小田急百貨店新宿店本館が解体されるのをご存知でしたでしょうか。コルビジェを日本に紹介した建築家・坂倉準三による日本モダニズム建築の代表作が姿を消していくそう。そんなわけで、今回はコロナによって、都市はどう変わるのか？ モダニズムと多様性の観点から読み解いていきます。ぜひご一読を！

[「都市にイノベーションは戻るのか？ アフターコロナの都市論を想像する」](#)

\*\*\*\*\*

## 編集後記

今回もトリプルマガジンをお読みいただきありがとうございました。

AIZE 新製品、いかがでしたでしょうか？ 社内でサービスについて検討するのはもちろんですが、お客様と会話させていただくなかで生まれる製品もあります。「こんなこと、画像認識でやってみたい」とアイデアがございましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！

\*\*\*\*\*